

介護界のカリスマ的存在・NHK ラジオ介護のヒントでおなじみの

# 三好春樹さんが里山がっこうにやってくる



## ●三好春樹さんのプロフィール

1950（昭和 25）年、広島県生れ。高校中退後数々の職業に就き、24 歳で特別養護老人ホームに生活指導員として勤務。31 歳で理学療法士の資格を取得。35 歳で独立し、「生活とリハビリ研究所」を設立。各地の介護現場に関わりながら、年間 200 回の講演活動を行ってきた介護界のカリスマ的存在。著書に『老人介護 常識の誤り』『完全図解 新しい介護』『老人介護とエロス』『介護のススメ』『野生の介護』『認知症介護』『新しい認知症ケア』など多数。

介護の本質と社会の中での価値を三好さんと一緒に考える

8月26日（土）  
午後2時半から  
里山がっこう3年B組で  
特別セミナー開講

テーマは  
「希望」  
としての  
介護

介護保険が導入されてから20年が経過しました。「介護」という言葉は、今では当たり前のように使われています。とはいえ、「介護予防」という言葉に象徴されるように、介護がまるで病気であるかのような負のイメージを持っている方が多いのではないですか。

「要介護にはなりたくない」。そう思うのは誰も同じです。ですが、元気で健康な方も、いずれ老い衰えるのは当たり前。そうして、人生の終末期に出会うのが介護なのです。

今回のセミナーでは、NHK ラジオの「介護のヒント」でおなじみの三好春樹さん（生活とリハビリ研究所代表）を講師に招きました。三好さんは、理学療法士として50年以上介護の現場にかかわりながら、老人の主体と生活に根差した新しい介護を「生活リハビリ講座」として体系化してきた方です。

その三好さんがこれまでの活動の集大成として提唱しているのが「介護の社会化、社会の介護化」です。そして「介護は希望」だとも話されています。介護を受けることへの忌避感、3K 職場、人材不足といわれ続けている介護の現場。そんな中、「介護そのものが面白い。介護にこそ未来がある」と語る三好さんに、その真意を解き明かしてもらいます。

「介護そのものが面白い。介護にこそ未来がある」

三好春樹さん特別セミナー 主催：NPO 法人りょうぜん里山がっこう・協力：NPO 法人そらいろ

- 日時 8月26日（土）午後2時30分から 受付：午後2時から
- 場所 りょうぜん里山がっこう 3年B組
- 受講料 1,000円（当日受付にてお願いいたします）

セミナーに関する問い合わせは、りょうぜん里山がっこう・高野まで ☎024-587-1032